

ポストコロナ時代における 地域社会への期待と課題

2020年8月3日

学校法人先端教育機構
事業構想大学院大学
学長 田中里沙

クリエイティビティ+MBA=

事業構想修士

学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学

未来を見据えた、
新しい事業を構想する人を育成する
社会人向け大学院です。

<東京・名古屋・大阪・福岡>

修士課程 2年間

事業構想修士 Master of Project Design : MPD

対象者

- ・新規事業担当者
- ・事業承継者、予定者
- ・起業を目指す方
- ・地域活性を担う方

2012 東京・南青山

2018 大阪 / 福岡

2019 名古屋



< 論点整理 >

1 社会の変化・現状をどう捉えるか

- ✓一極集中から分散へ（新たな暮らしと仕事、地域づくり、コミュニティ）
 - ✓デジタルシフトの加速（雇用の変化、リモートワーク）
 - ✓産業構造の変化（消費の変化とサプライチェーン、新しいライフスタイルとセット）
- 価値の認識、イノベーション創出の機会

2 現状を分析した上で、どのような方針を打ち出すか

①分散化

対東京ではなく、多様な文化・自然・人材を有する地域の価値を生かす
資本ストックとなる地域資源の発見、充実、発展（競争力）
地域資源のサステナブルな活用（健康、自然との共存、心の豊かさ）
地域のリ・デザイン（分散化+適度な集積）

②デジタルシフト

新しいビジネスチャンス 新事業、地域産業、スタートアップへ
住民がどのようなメリットを享受できるのかのイメージ
特に医療、教育に関するデータの収集と利活用、ガバナンスの問題

③新しいライフスタイル

特色あるキャリアモデル、ライフプラン、共生、ネットワーク、つながり

今後の論点として(例)

富山の強みである

コンパクト&ネットワーク、SDGs(サステナビリティ)の強化・発展

- ✓ 社会的危機に立ち向かうには、共創と協業
人と人の「ネットワークのクオリティ」が重要。
行動規制だけでなく、官、産、学、民の各セクターの知を共有
融合、活用する社会的なプラットフォーム作りが不可欠。
- ✓ 目指すべきは持続可能な経済モデル
地域の経済圏を形成する方策を考え、地域で稼いだお金が地域
で回る、新たな自給自足スタイルへの挑戦。

新しい社会像

- 新たな価値の創出（社会、人材）= 価値デザイン社会
- 共感を得て持続的に成長する地域社会



ニューノーマル
デジタルトランスフォーメーション DX

「地域価値デザイン社会」への挑戦

Society5.0の実現

多様な個性・
想像力の融合

共感の醸成

+

デジタル
革新

||

社会課題の解決と価値の創出